

令和7年度 学校評価まとめ

数値	そう思う：4点 どちらかといえばそう思う：3点 あまりそう思わない：2点 そう思わない：1点 の平均値です
評価	A：4.00～3.41 B：3.40～2.81 C：2.80～2.21 D：2.20～1.61 E：1.60～0.00 前年度より0.5以上増加：++ 前年度より0.25以上増加：+ 前年度より0.25以上減少：- 前年度より0.5以上減少：--

分類	質問項目	R5 年度	R6 年度	本年度 評価	自己評価	学校関係者評価		
学校運営全般	生徒1 本校に入学して良かった。	3.46	3.55	3.40 B	1については、保護者・教員の評価が昨年度より低下した。特に教職員の評価が低くなっている。具体的な点について、教職員から意見を聞くなどして、生徒や保護者のニーズに応えられるよう、教職員が一丸となって取り組めるように図りたい。	・質問1について この数年は評価の低下が続いていますので、評価が向上するように改善に取り組んでください。 ・全体的に評価が高く安定していると感じるが、この項目の主体となるべき生徒の評価が前年より低下していることが気になります。大切な3年間、入学して良かったと思う生徒が一人でも増える様願います。		
	保護者1 本校に入学させて良かった。	3.68	3.62	3.64 A				
	教職員1 本校は、生徒・保護者の期待やニーズに応える教育活動を行っている。	3.35	3.20	3.47 A+				
開かれた学校づくり	生徒2 学年通信、各種便りなどによって、本校の情報がよくわかる。	3.15	3.27	3.33 B	2については、学校としては、本校の様々な取り組みが伝えられるよう、情報発信に努めていく。その際、はなまる通信やHPもさらに活用を進めていきたい。	・評価がここ数年は変わりませんが、今後も生徒と保護者に対して、メール等の発信に取り組んでください。 ・情報の出し手の評価が高い一方、受け手の評価が少し低いのが気になります。更なる発信力向上に期待します。		
	保護者2 学年通信、各種便り、はなまる通信などによって、本校の情報が得られている。	3.15	3.32	3.36 B				
	教職員2 教育活動の情報を、学年通信や各種便り、はなまる通信等を通じて発信している。	3.51	3.43	3.61 A				
	生徒3 本校のホームページは適切に更新されている。	2.96	3.09	3.17 B			3については、生徒・保護者の評価が昨年度より若干改善している。保護者は来校する機会が多くないため、ホームページで取り組みを知ることが多い。本校のホームページは、学校行事や探究活動、STEAM探究科の取り組みについて更新頻度は多くなっているが、依然として部活動の更新が少ない。この点が保護者による評価が低い原因だと考えられる。 4については、生徒・保護者の評価が年々高くなっている。本校のオープンスクールの参加者が増え続けており、内容に満足していただいていることがうかがえる。ただ、普通科の取り組みをもっと知りたいという要望が多かったため、改善が必要である。教職員の評価が、生徒・保護者より高いのは、実際にオープンスクールに誠意を持って関わっているからだと思われる。	・改善がみられていますが、ホームページHPによる発信だけでなく、Q&Aのような項目を積極的に活用するなど、双方向での連絡を検討してください。 ・質問4について 引き続き、オープンスクールの情報発信に積極的に取り組み、小学生や中学生への広報活動（HPのリンク等）をご検討ください。 ・ホームページに関する評価が3者とも改善していることは良いと思いますが、自己評価にもある更新に対する温度差をどうしていくかが大切と考えます。 ・4に関してはSTEAM探究科の特色魅力発信は充実している様に感じるが、普通科も含めた飾西高校の魅力を発信して欲しいと思います。
	保護者3 本校のホームページは適切に更新されている。	3.03	3.10	3.18 B				
	教職員3 本校のホームページは適切に更新され、学校の広報に効果を上げている。	3.11	3.03	3.33 B+				
	生徒4 学校は、説明会やオープンスクールなど中学生への広報活動を積極的に行っている。	3.46	3.48	3.48 A				
	保護者4 学校は、説明会やオープンスクールなど中学生への広報活動を積極的に行っている。	3.29	3.36	3.36 B				
	教職員4 学校説明会や中学校訪問等の広報活動を積極的に行っている。	3.62	3.66	3.58 A				
	生徒5 学校行事等に保護者や地域の方々の参加があり、交流が図られている。	2.98	3.11	3.07 B				
保護者5 学校行事等に保護者や地域の方々の参加があり、交流が図られている。	2.99	3.02	3.17 B					
教職員5 学校行事等に保護者や地域の方々の積極的な参加・協力があり、交流が図られている。	3.16	3.23	3.11 B					
生徒指導	生徒6 学校は、基本的な生活習慣を守り、規律ある学校生活をするよう、適切な指導をしている。	3.38	3.42	3.46 A	6について、教職員の評価が低くなっている。校則の見直し等が多く行われる中で、共通認識を図る機会が少なかつた様に考える。自由な校風の中にも規律がメリハリのある学校になるよう取り組みを行っていく。 7について、引き続き交通ルールや通学マナーを守るよう、関係機関等とも連携し適切な指導を継続していきたい。 8について、今後もチーム学校として関係機関とも連携し、いじめを未然に防止し命を大切にする教育を進めていく。	＜生徒指導＞ ・質問6, 7, 8について 引き続き、学校生活、交通ルール、いじめ対策に対する適切な指導を行ってください。 ・6に関して、自己評価にもある様に、教職員の評価が低いことが気になります。校則の見直しを進めながらも、基本的なルールについては徹底して欲しいと考えます。 ・7に関しては生徒の評価が毎年高いですが、事故はいつ起きるかわからないため定期的な交通安全指導をお願いします。 ・8に関して、SNS上でのいじめ等が増えているため、引き続き対策を願います。		
	保護者6 学校は、基本的な生活習慣を身に付け規律ある学校生活をするよう、適切な指導をしている。	3.36	3.41	3.54 A				
	教職員6 学校は、基本的な生活習慣が身に付くよう機会を見つけて指導している。	2.95	2.83	2.83 B				
	生徒7 学校は、交通ルールや通学マナーを守るよう適切な指導をしている。	3.60	3.69	3.63 A				
	保護者7 学校は、交通ルールや通学マナーを守るよう適切な指導をしている。	3.31	3.31	3.47 A				
	教職員7 学校は、交通ルールや通学マナーを守るよう適切な指導をしている。	3.19	3.00	3.14 B				
	生徒8 学校は、「いじめを抑止し、いじめを許さない学校づくり」に積極的に取り組んでいる。	3.32	3.34	3.40 B				
	保護者8 学校は、「いじめ防止基本方針に基づき、「いじめを抑止し、いじめを許さない学校づくり」に積極的に取り組んでいる。	3.10	3.17	3.26 B				
教職員8 学校は、「いじめ防止基本方針に基づき、「いじめを抑止し、いじめを許さない学校づくり」に積極的に取り組んでいる。	3.46	3.29	3.47 A					

令和7年度 学校評価まとめ

数値	そう思う：4点 どちらかといえばそう思う：3点 あまりそうは思わない：2点 そう思わない：1点 の平均値です
評価	A：4.00～3.41 B：3.40～2.81 C：2.80～2.21 D：2.20～1.61 E：1.60～0.00 前年度より0.5以上増加：++ 前年度より0.25以上増加：+ 前年度より0.25以上減少：- 前年度より0.5以上減少：--

分類	質問項目	R5 年度	R6 年度	本年度 評価	自己評価	学校関係者評価
教職員の 資質 向上	生徒9 模試の結果からの情報は、学習を進めるのに役立っている。	3.50	3.53	3.51 A	9では、特に、保護者に向けての情報提供について、昨年と同評価になっているので、伝え方を工夫する必要である。また、多様化する生徒の進路に対応するよう模試の校内実施について精査が必要である。	・質問9について 伝え方を工夫し、引き続き改善努力を行ってください。 ・自己評価にもある様に、3者評価が昨年度とほぼ変わらないため、保護者への伝達方法の改善を期待します。
	保護者9 模試の結果から進路選択に必要な情報や知識が学校から提供されている。	3.05	3.05	3.04 B		
	教職員9 模試のデータを分析し、生徒に進学に必要な情報を伝えている。	3.27	3.20	3.44 A		
	生徒10 先生は授業内容や指導方法の工夫・改善に努めている。	3.42	3.41	3.41 A	10については、指導の中で、BYOD端末の活用を含めICT機器の活用がより効果的に行われている。指導方法について一層工夫が図れるよう、組織的に情報共有し、生徒の意欲向上につなげていきたい。	・質問10について このまま改善の努力を行ってください。 ・この項目は本来主体である教職員の評価が一番高くあるべきと考えます。
	保護者10 先生は、生徒の学力向上のために熱心に学習指導をしている。	3.35	3.35	3.39 B		
	教職員10 授業相互参観、生徒による授業アンケートなどを実施し、指導方法の工夫・改善に努めている。	3.16	3.23	3.22 B		
	生徒11 各科目の学習評価は適切に行われている。	3.46	3.45	3.43 A	11については、今年度は、よりよい評価を行うために、教育課程委員会や各教科において議論し、評価の改善に向けた見直しを行っていく。定期考査の割合の高さについて引き続き検討していく。今後も、よりよい評価ができるように努めていきたい。	・質問11について このまま改善を行い、評価向上の努力を行ってください。 ・学習評価に関して教職員の評価が低下しており気になります。
保護者11 各科目の学習評価は適切に行われている。	3.33	3.34	3.40 B			
教職員11 各教科・科目において、評価基準や評価方法について議論し、適切に行っている。	3.30	3.23	3.11 B			
学力 向上	生徒12 学校は、少人数授業や習熟度別授業を実施し、学習内容の理解・定着に努めている。	3.38	3.28	3.34 B	12については、少人数授業や習熟度別授業については、人的資源の問題等から設定することができなかったこともあるが、次年度より、単位制高校になることにより、改善を図っていく。	・質問12について、引き続き、現状で出来る範囲内で学習指導の改善を進めてください。 ・自己評価にもある様に、単位制になることでどの様に改善されるのか期待しています。
	保護者12 学校は、少人数や習熟度別などのきめ細かい学習指導を行い、学習内容の理解・定着に努めている。	3.05	3.06	3.18 B		
	教職員12 少人数授業や習熟度別授業を積極的に取り入れ、個々の生徒に応じた学習内容の理解・定着に努めている。	3.22	3.14	3.17 B		
	生徒13 与えられる課題（宿題）・小テスト、予習・復習のチェックなどは、家庭学習の習慣づけに役立っている。	3.27	3.26	3.27 B	13については、生徒の中に、家庭学習の習慣づけに全く役立っていないと感じている者が少数ではあるが存在する。また、年度推移ベースで見ても生徒視点では評価点数に下降傾向が見られる。できるだけ多くの生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにするためにはどのようにすべきか、様々な角度から検討をする必要があると思われる。	・質問13について、現状での学習指導において、生徒の取り組み方が改善できるように検討してください。 ・別添の保護者記述に、課題、宿題の多さに関する内容があり気になりますが、一方でそれらが無ければ無いて本当に自主的に家庭学習が出来るのか疑問に思うところも有ります。どの様にすべきか検討をお願いします。
	保護者13 与えられる課題（宿題）・小テスト、予習・復習のチェックなどは、生徒の家庭学習の習慣づけに役立っている。	3.30	3.21	3.28 B		
	教職員13 生徒の家庭学習の確立のため、課題、小テスト、家庭学習アンケート、個別指導の実施など様々な工夫をしている。	3.38	3.23	3.17 B		
生徒14 課題・小テストや授業の予習・復習は、学力定着・向上に役立っている。	3.35	3.33	3.32 B	14については、それぞれの立場からの評価が毎年下がっている。課題の量や内容について、保護者や生徒からの要望もある。改善するべきところは改め、よりよい授業内容や学習内容が定着するような授業を心がけていく必要がある。 個別最適な学びの実現に向けて、課題の在り方について見直す機会を設ける。	・質問14について、予習と復習は保護者や生徒の要望する内容や量に対応し、変更可能な点をご検討ください。 ・13と同じで様々な考え方が出来ると思いますので引き続きの検討をお願いします。	
保護者14 課題・小テストや授業の予習・復習は、生徒の学力定着・向上に役立っている。	3.29	3.24	3.34 B			
教職員14 課題・小テストの実施や予習復習の習慣化が日々の授業展開や学習内容の定着に役立っている。	3.24	3.14	3.03 B			
学力 向上	生徒15 自分の将来について考え、進路目標を明確にするための情報が学校から提供されている。	3.36	3.35	3.31 B	15では、保護者・生徒ともにに情報提供が十分でないと感じており、生徒が進路目標を設定するために、どのような情報を必要としているのかを面談等で再度把握し、適切な情報提供の在り方について検証の必要がある。 16については、多様化する入試形態に対応できるよう進路指導や個別指導やの方法をさらに検討していきたい。 17についても、質問16と同じような結果となっているが、生徒・保護者がどのようなことを求めているのかの把握が重要である。 今後、総合型選抜入試が拡大傾向にあることから、今ある進路情報を進路指導部を中心にアップデートしていくとともに、多様な進路実現に向けて取り組みを充実させる。	・質問15、16、17について、昨年コメントしたが、貴校OB・OGとの連絡を積極的に取り、オンライン等で交流される機会を設けては如何でしょうか。できれば対面がよいですが。 ・3つの項目に共通して、保護者の評価が毎年低い結果となっており、進路に関する情報を保護者に届ける方法の見直し（スケジュール・国公立・私立の情報）を行う必要があるのではと考えます。
	保護者15 将来について考え、進路目標を明確にするための情報が学校から提供されている。	3.00	3.07	3.15 B		
	教職員15 大学・学部・学科の特徴や多様な職業についての情報を与え、生徒の能力・適性を考えさせている。	3.35	3.34	3.19 B		
	生徒16 自分の進路目標に合った学力向上のための指導が展開されている。	3.26	3.26	3.28 B		
	保護者16 生徒の進路目標に合った学力向上のための指導が展開されている。	3.06	3.06	3.09 B		
	教職員16 生徒の進路実現に向け、実態とニーズに合った学力向上のための指導を行っている。	3.30	3.29	3.11 B		
	生徒17 面談など個別の指導は、進路目標に向かって取り組む上で役立っている。	3.43	3.44	3.40 B		
	保護者17 面談など個別の指導は、進路目標に向かって取り組む上で役立っている。	3.21	3.26	3.24 B		
教職員17 進路決定のため、生徒や保護者との面談の機会を十分に設けている。	3.46	3.46	3.42 A			

令和7年度 学校評価まとめ

数値	そう思う：4点 どちらかといえばそう思う：3点 あまりそうは思わない：2点 そう思わない：1点 の平均値です
評価	A：4.00～3.41 B：3.40～2.81 C：2.80～2.21 D：2.20～1.61 E：1.60～0.00 前年度より0.5以上増加：++ 前年度より0.25以上増加：+ 前年度より0.25以上減少：- 前年度より0.5以上減少：--

分類	質問項目	R5 年度	R6 年度	本年度 評価	自己評価	学校関係者評価
特別活動 (学校行事)	生徒18 定期考査の結果は、その後の学習指導に生かされている。	3.32	3.34	3.29 B	18から定期考査を受けた後の振り返りや復習が不十分であることがうかがえる。また、改善への具体的な方策を示す必要があると思われる。 19から課題や小テストなど教師側から強制されて学習していると感じている生徒が多く、家庭での学習習慣があまり身につけていないことが推測される。生徒各自が目標を持って、主体的に学習に取り組むための予習のあり方や週末課題等の課題の取り組み方の指導、また課題の量や質を再点検する必要もある。また根本的に、主体的な学習がなぜ必要なのかを説いていく必要がある。	・質問18と19について、引き続き、生徒自身が自主的に取り組むように、適切な指導を行ってください。 ・定期考査の復習や自主学習については、どうしても生徒一人一人を信頼する面が強いため、自己評価にもある様に、それらがいかに必要であるかを、入学当初の早い時期から生徒に伝えていくことが大切と考えます。
	保護者18 定期考査の結果は、その後の生徒の学習に役立っている。	3.10	3.01	3.05 B		
	教職員18 定期考査の結果は、その後の生徒の学習に役立っている。	3.22	3.06	3.14 B		
	生徒19 学校は、生徒の自主的な学習習慣が育つよう適切な指導をしている。	3.31	3.31	3.31 B		
	保護者19 学校は、子どもの自主的な学習習慣が育つよう適切な指導をしている。	3.07	3.07	3.14 B		
	教職員19 教職員は、生徒の自主的な学習習慣が育つよう適切な指導をしている。	3.14	3.23	3.17 B		
特別活動 (学校行事)	生徒20 楽しい学校行事があり、私は学校生活に充実感を感じている。	3.57	3.59	3.51 A	文化祭や体育祭、球技大会、綱引き大会等の学校行事では、生徒会が中心となって企画・運営を行い、生徒が満足できる行事として成功させることができた。 ただ、教職員の負担も大きいため、教職員から行事の精選を望む声も聞かれている。 生徒主体の学校行事のさらなる充実を図るとともに、精選を進めていきたい。	・質問20と21について、限られた日程の中において、教職員の方々の負担は、大きいですが、学校行事は大事であるので、引き続きよりよい運営を続けてください。 ・負担が大きいため教職員の評価が低いことは理解は出来るものの、学校行事は生徒にとって飾り生活の大切な思い出となるため、自己評価にある行事の精選には個人的には反対します。
	保護者20 楽しい学校行事があり、生徒は学校生活に充実感を感じている。	3.43	3.46	3.49 A		
	教職員20 学校行事の内容を精選して実施し、生徒の育成に効果的に活用している。	3.08	2.89	3.06 B		
	生徒21 行事の運営には、生徒会を中心にして生徒が積極的に関わっている。	3.60	3.55	3.52 A		
	保護者21 行事の運営には、生徒会を中心にして生徒が積極的に関わっている。	3.34	3.42	3.40 B		
	教職員21 行事の運営を通じてリーダーを育成し、生徒間の協力体制ができるよう指導している。	3.19	3.11	3.00 B		
学校の特色化	生徒22 生徒の興味・関心や進路希望に応じて、コース・類型が設置され、受けたい科目が開講されている。	3.42	3.51	3.44 A	22について、現状のコース・類型、また開講されている科目は、大多数の生徒が希望する進路に基づき、現行制度の下で学校として最大限実施できる科目構成となっている。多様化する学習に対する興味・関心に対して、どのように実現することができるかを引き続き検討し、社会と繋がる機会を増やし、生徒が在りたい未来を創造できる教育課程を編成できるよう、引き続き検討していく。 また、ベンチャー企業（起業家）からの学びを深め、アントレプレナーシップの醸成を図りたい。	・質問22について 新コース・類型に向けた教育改善を引き続き、ご検討ください。 ・この項目の主体となるべき生徒の評価が毎年安定して高いことに安心しつつも、教職員の評価の改善にも期待します。
	保護者22 生徒の興味・関心や進路希望に応じて、コース・類型が設置され、受けたい科目が開講されている。	3.18	3.42	3.41 A		
	教職員22 生徒の興味関心や進路希望に応じたコース・類型が設置し、選択科目を開講している。	3.32	3.31	3.11 B		
	生徒23 特色のある教科学習や特別活動が経験でき、自分の能力を伸ばすことができる。	3.30	3.33	3.30 B		
	保護者23 特色のある教科学習や特別活動が経験でき、生徒の能力を伸ばすことができている。	3.10	3.14	3.19 B		
	教職員23 生徒の多様な能力を育成するために、工夫した独自の教育活動を行っている。	3.11	3.37	3.36 B		
	生徒24 教育活動を通じて、命や人権が大切にされており、安全・安心で快適な学校生活を過ごすことができる。	3.49	3.49	3.50 A		
	保護者24 教育活動を通じて、命や人権が大切にされており、安全・安心で快適な学校生活を過ごすことができる。	3.20	3.28	3.32 B		
	教職員24 互いを思いやり、安全・安心で命や人権を大切にされた教育活動が行われている。	3.19	3.14	3.19 B		
	生徒25 コース・STEAM探究科では、生徒が学校設定教科・科目の授業や、大学との連携や特別講義など、特色ある教育を受けている（コース・STEAM生徒対象）	3.62	3.67	3.64 A		
保護者25 コース・STEAM探究科は、学校設定教科・科目の授業や、大学との連携や特別講義など、特色ある教育を展開している（コース・STEAMの保護者対象）	3.46	3.53	3.59 A			
教職員25 コース・STEAM探究科は、学校設定教科・科目の授業や、大学との連携や特別講義など、特色ある教育活動を展開している。	3.51	3.63	3.53 A			
教職員の協働体制	教職員26 各学年・部間の連携により組織的な教育活動を行っている。	3.05	3.17	2.86 B-	スクールミッション達成に向けて、教職員が目標を共有し、それぞれの役割でさらに連携を図り、予測困難な時代を生き抜く生徒を育成するための学校づくりを行う。	・校長先生や教頭先生の指導の下、教職員間で連携を密にして、積極的に取り組んでください。 ・教職員個々の評価が高い一方で、連携が出来ていない様な評価となっていることが気になります。
教職員27 教員は教育目標を共有し、その達成に向けて積極的に取り組んでいる。	3.08	3.03	3.50 A+			